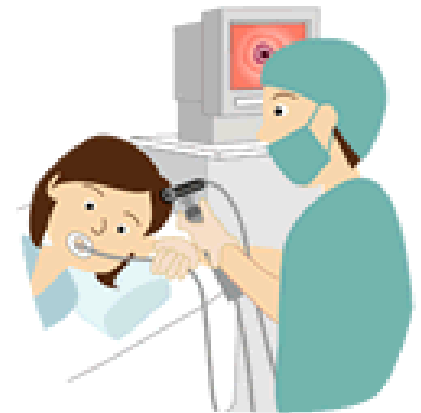
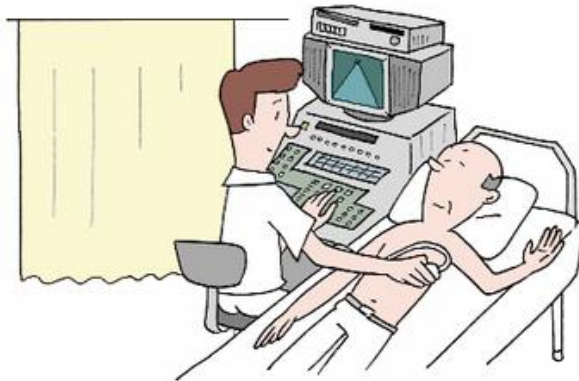
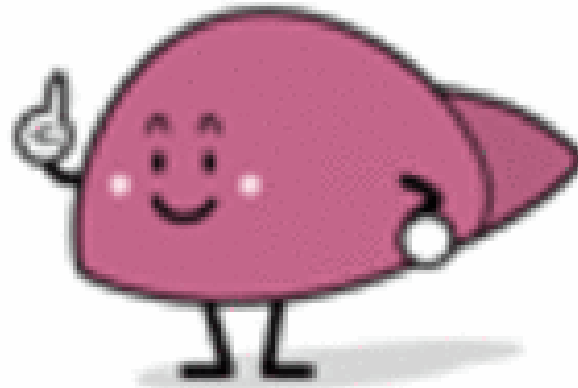
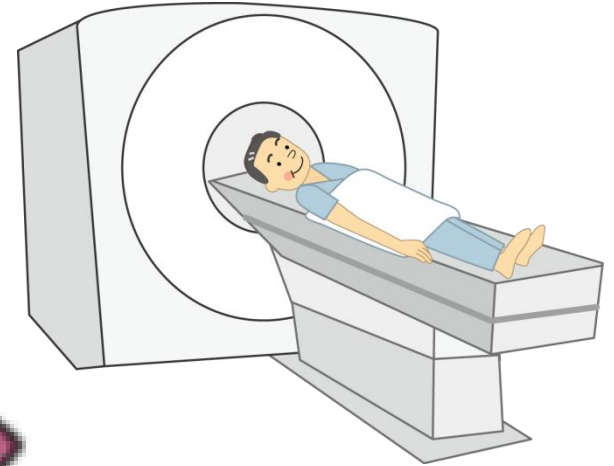


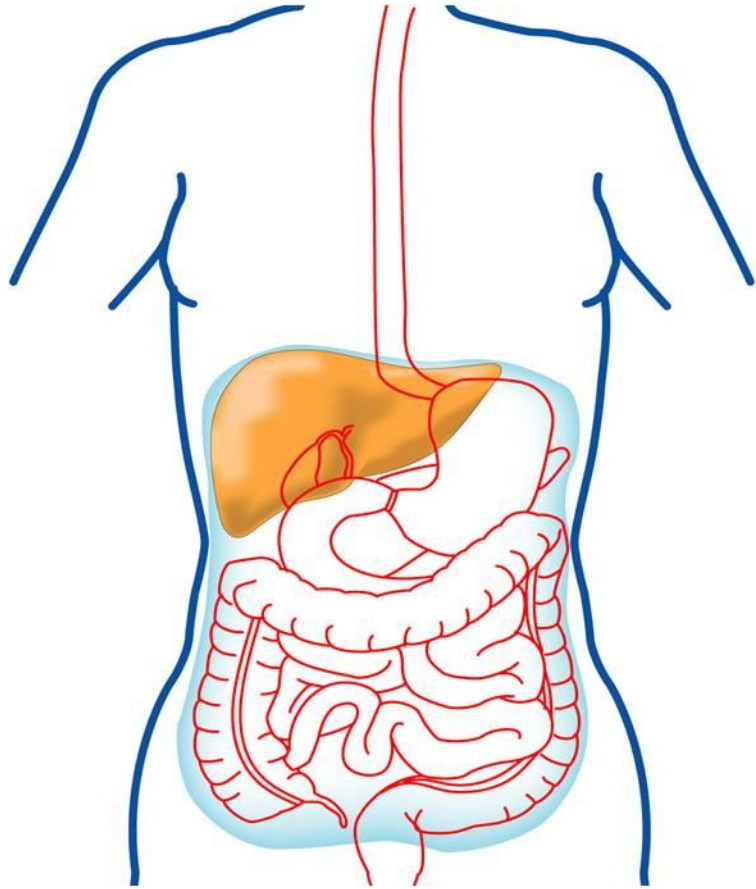
肝臓病に関連する検査について



肝胆膵内科 打田佐和子

2013.9.20 第18回肝臓病教室

肝臓って？



- ・ 肝臓は右上腹部にあり約1～1.5kgある。
- ・ 肝臓は予備能力が高く、正常肝の場合80～85%を切除しても肝機能は正常に働く。
- ・ 肝障害による症状が出た際には病状が進行していることが多い。

血液検査で何がわかるの？

前回のおさらい＋α

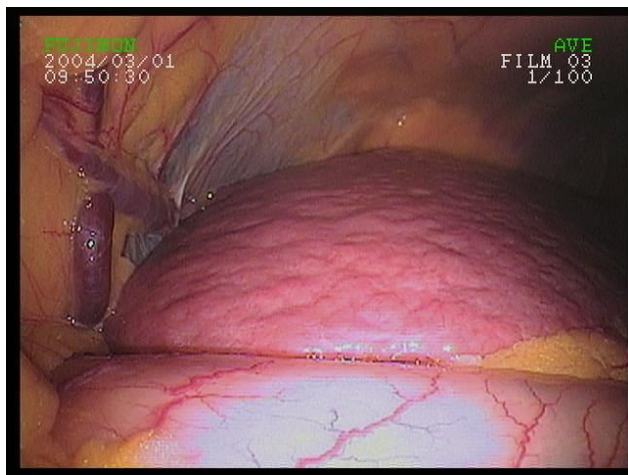


AST(GOT), ALT(GPT)	肝細胞のこわされ度
アルブミン, PT, コリンエステラーゼ, 総コレステロール	肝臓での合成能 予備能
ビリルビン, ALP, γ -GTP	胆道系, 胆汁のうっ滞
アンモニア	代謝能, 脳症
血小板数	肝硬変の進展度
AFP, PIVKA-II	肝癌の腫瘍マーカー
HCV, HBV, 抗核抗体, 抗ミトコンドリア抗体など	肝疾患の原因

肝疾患の経過

代償性肝硬変

非代償性肝硬変



→ **Death**

合併症の発現

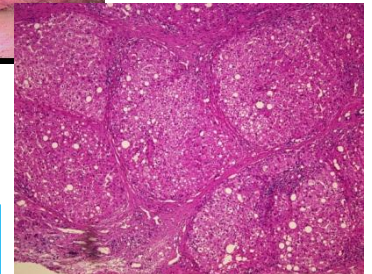
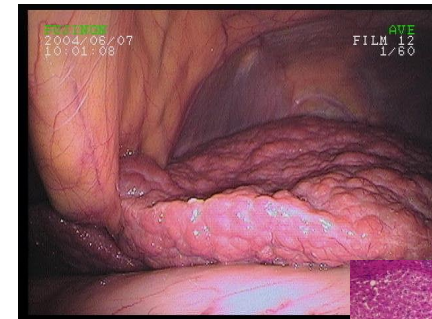
肝硬変か否か

静脈瘤破裂
腹水
脳症
黄疸

肝硬変の診断

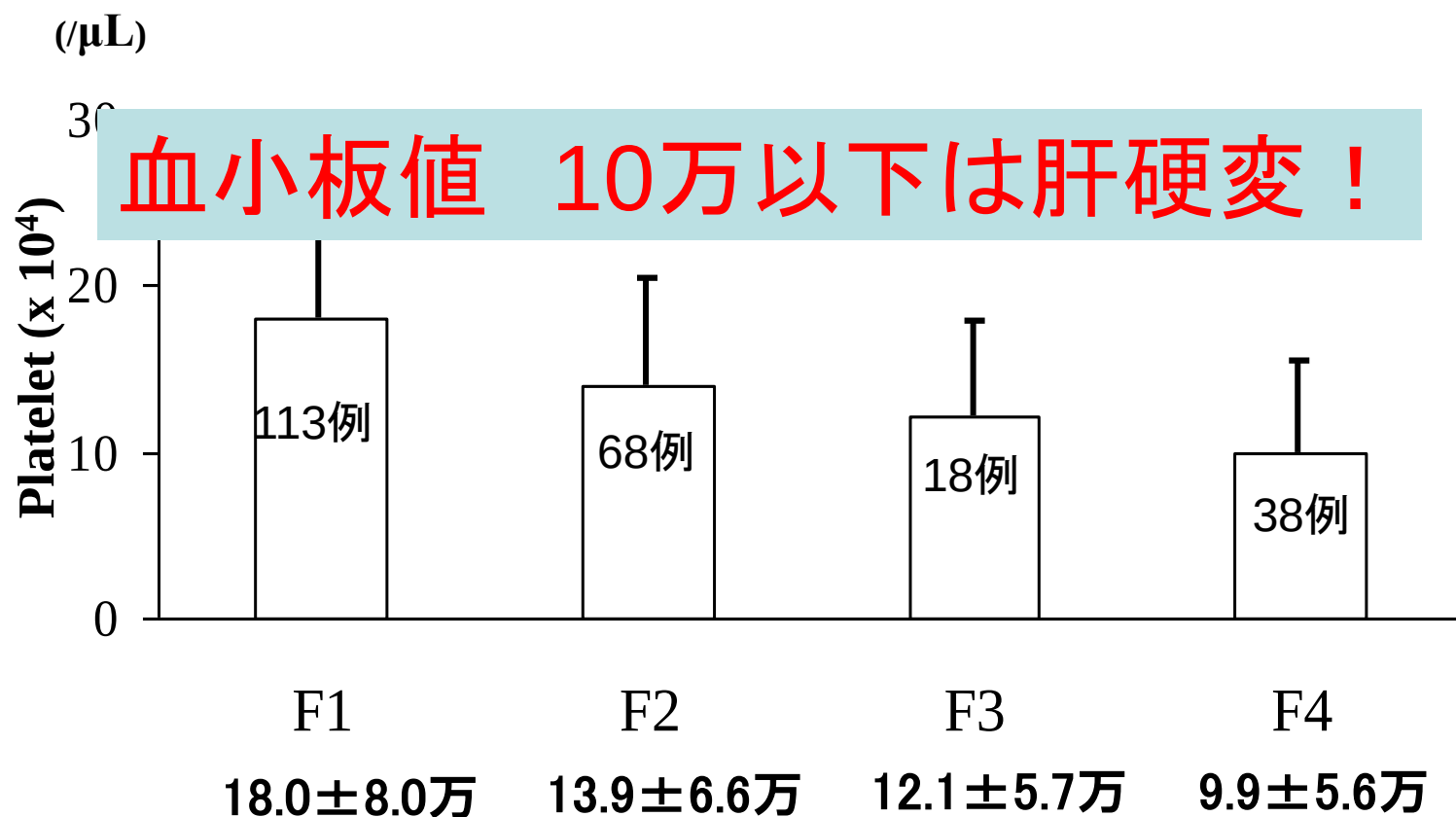
肝硬変の概念; 肝臓全体に線維化と線維化に伴う結節形成が解剖学的に認められる場合

⇒ 腹腔鏡での観察と肝生検

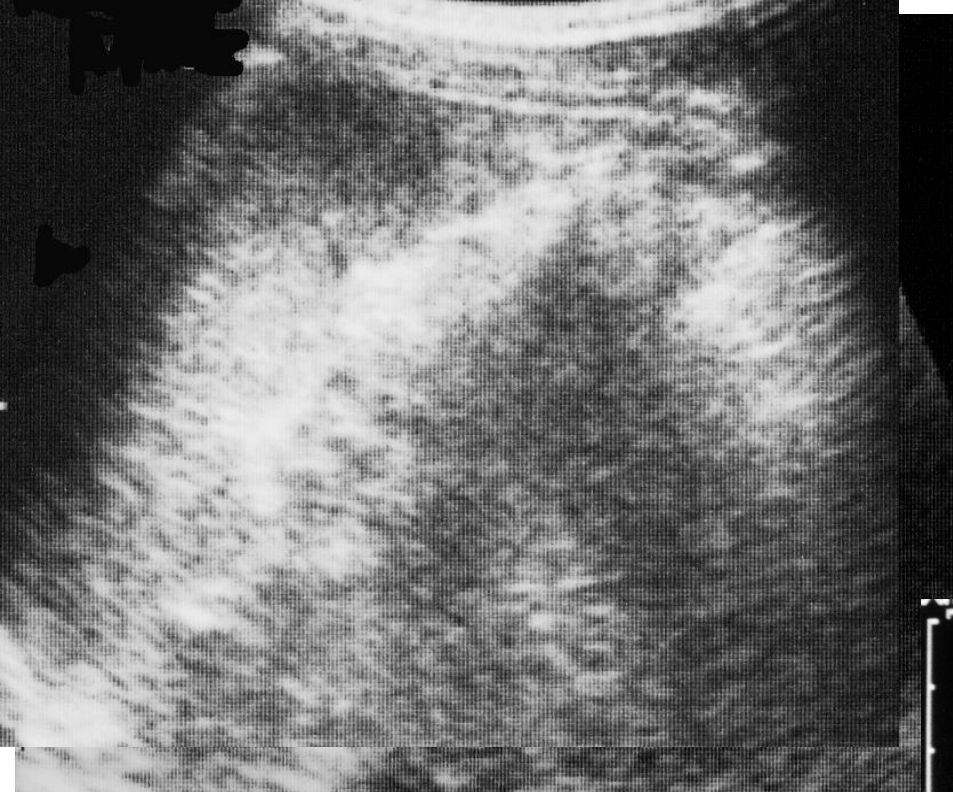


実臨床では、

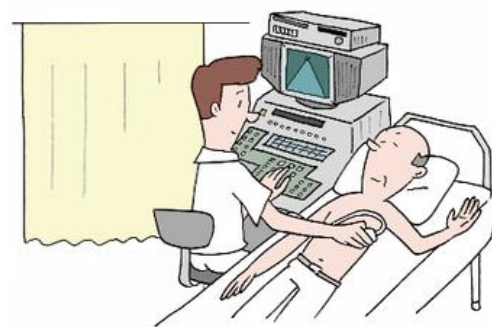
現状; 画像検査での形態学的変化や
臨床所見にて食道静脈瘤、腹水、脳症の存在や、
他に血液、凝固、生化学検査を用いて診断



線維化ステージ別の血小板値



スコア



1

2

肝辺縁の性状

鋭

肝表面の性状

平滑

肝内部エコー

均一

脾腫

<30



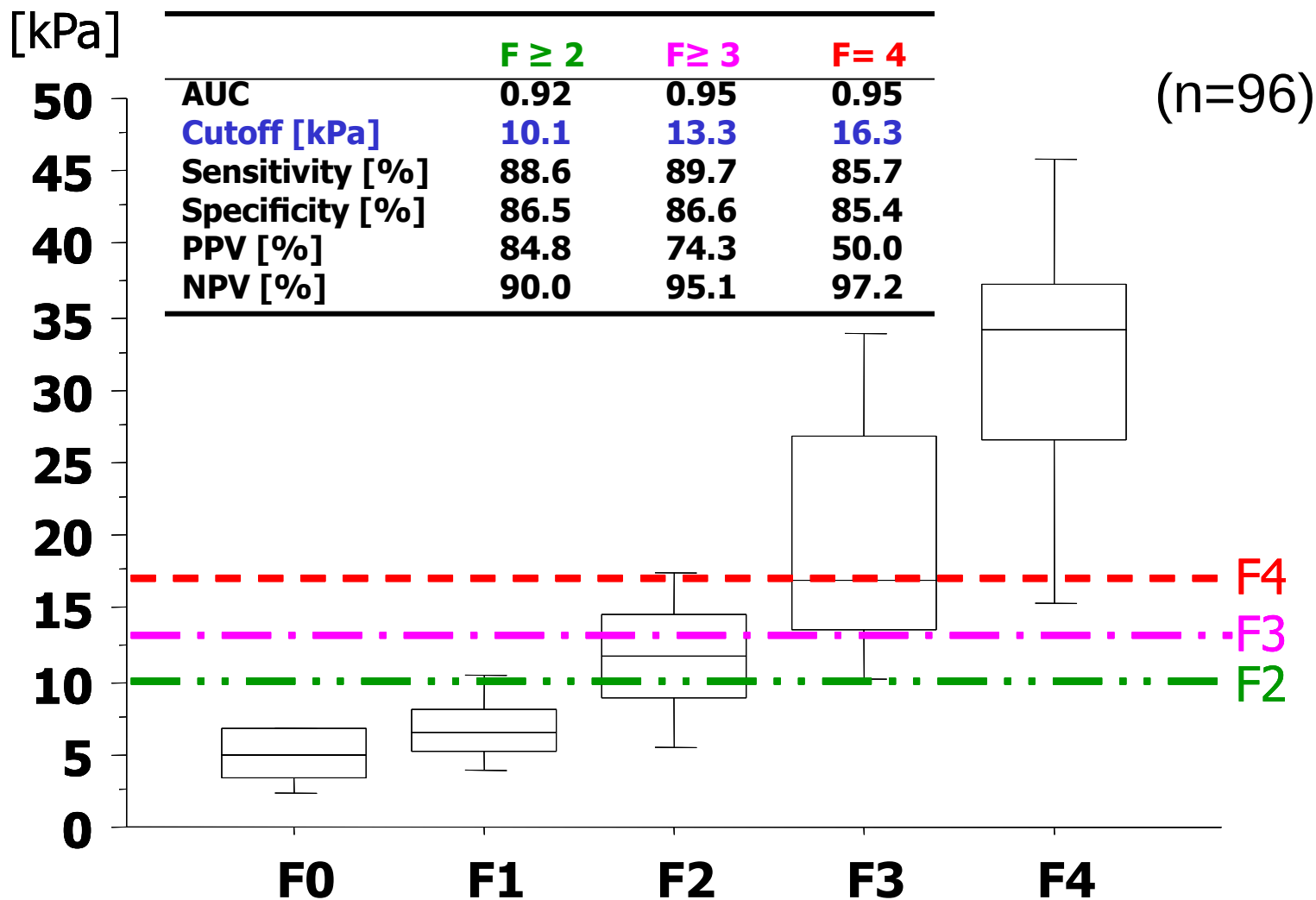
Fibroscanによる肝線維化の評価

肝硬変＝肝臓硬くなる

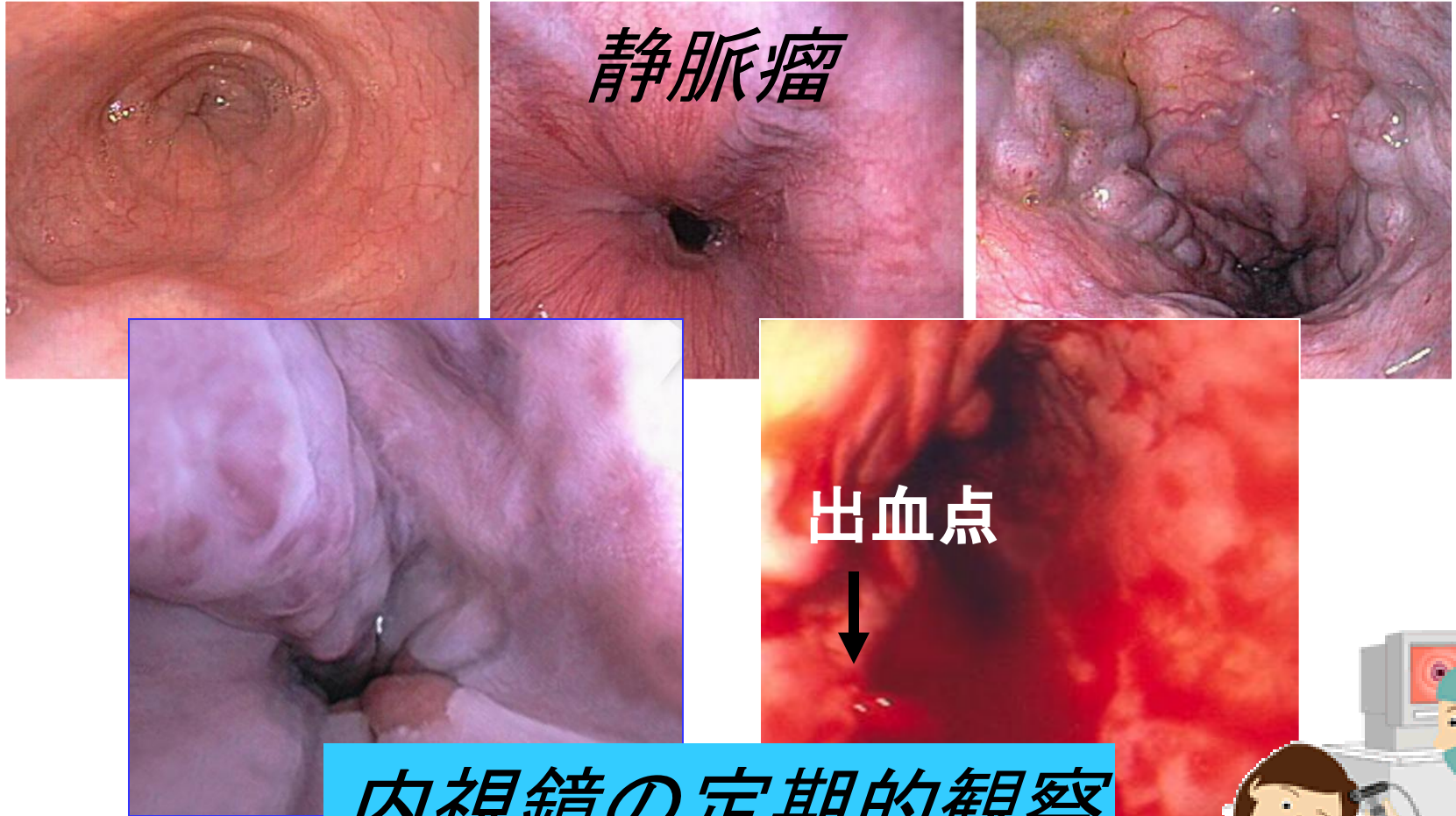


測定値は弾性値として
あらわされる(単位;kPa)

線維化ステージ別のFibroscan値



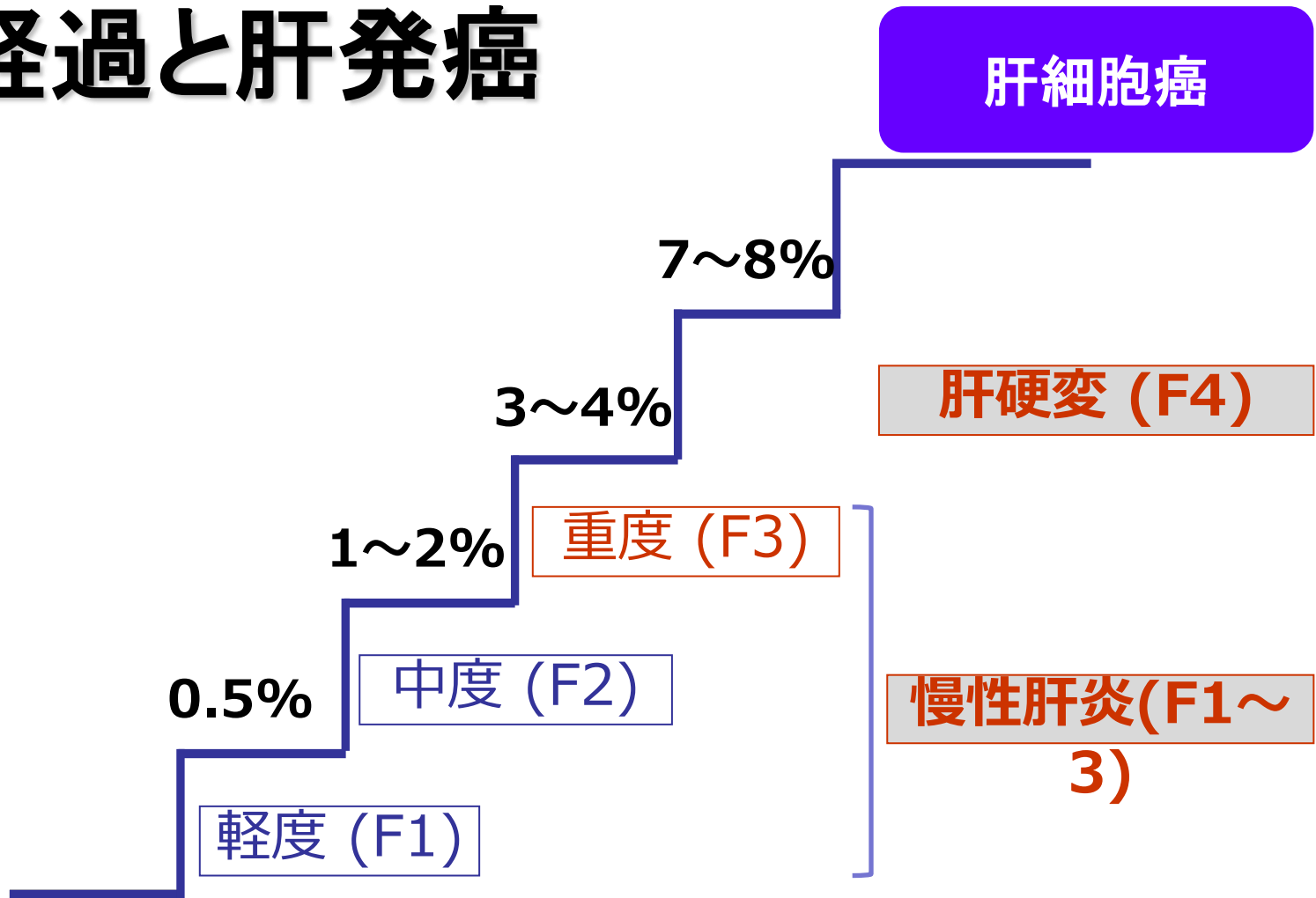
食道静脈瘤



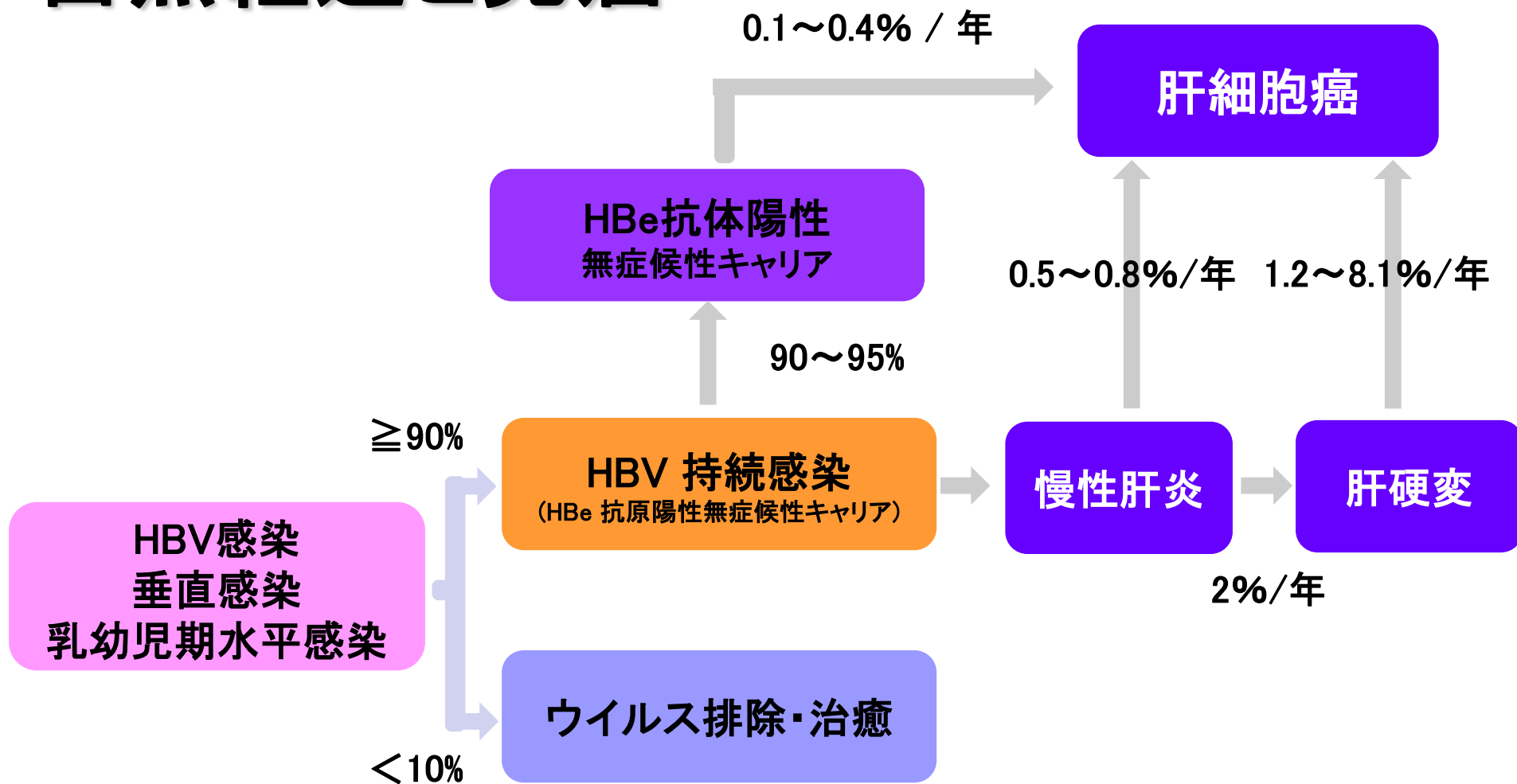
内視鏡の定期的観察
予防を含めた処置



C型慢性肝疾患の 経過と肝発癌



B型肝炎の 自然経過と発癌



肝がん早期発見のために

腫瘍マーカーの測定

AFP
AFP-L3%
PIVKA II

超音波検査やCT検査による
画像検査と腫瘍マーカー
の測定が有用

画像検査

超音波
CT
MRI

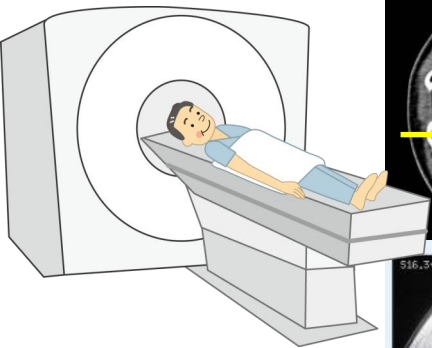
**超高危険群（血小板14万以下）では
頻回に他の血液検査と合わせて検査する
必要がある（年3～4回）**

F3高度慢性肝炎：血小板12-14万

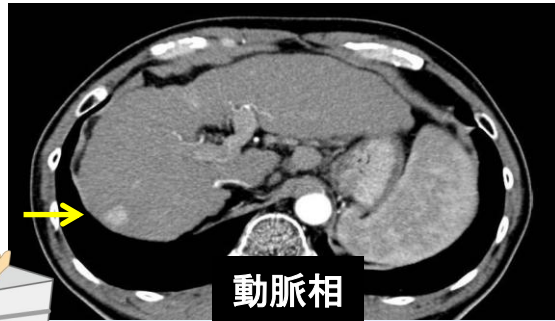
F4肝硬変：血小板10万以下

肝細胞癌

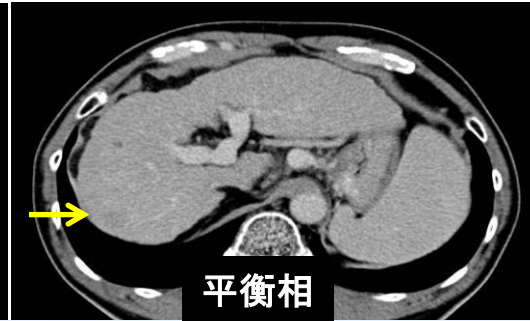
AFP ↑
PIVKA-II ↑



CT/MRI



動脈相



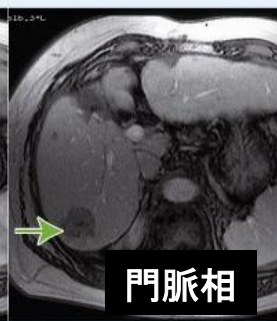
平衡相



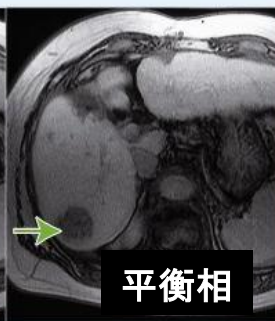
造影前



動脈相



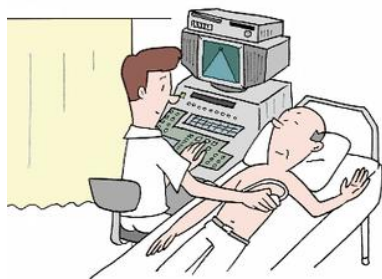
門脈相



平衡相



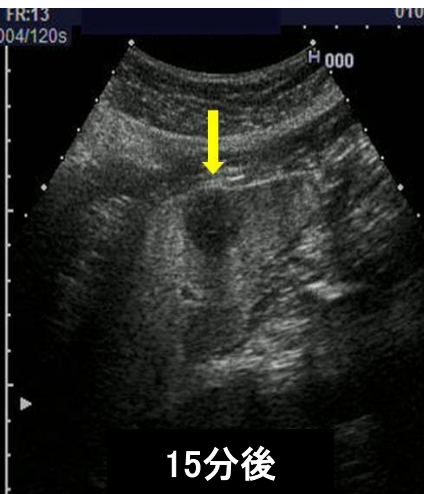
肝細胞相



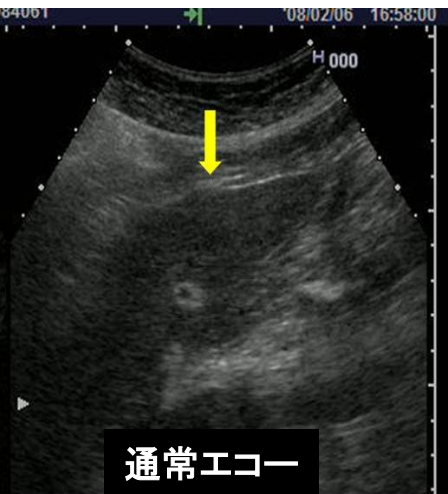
超音波



造影剤投与直後



15分後



通常エコー

ご自身の状態を正しく理解して、
定期的な検査を受けましょう！

